

飲食店の経営コストを削減する方法とは？

背景 飲食店の閉店は年々増加している。それを減らしていくためには、時代に合わせた経営をしていかななくてはならないのではないかと考えた。そこで新しい技術を取り入れた経営で、店のコストを減らせないか探求した。

研究内容

研究内容
 ・経営コスト削減の方法(中小規模の個人経営店を想定)
 ⇒電子決済による作業効率の向上
 ⇒AI導入による人件費の削減

コスト削減案①

電子決済の導入について

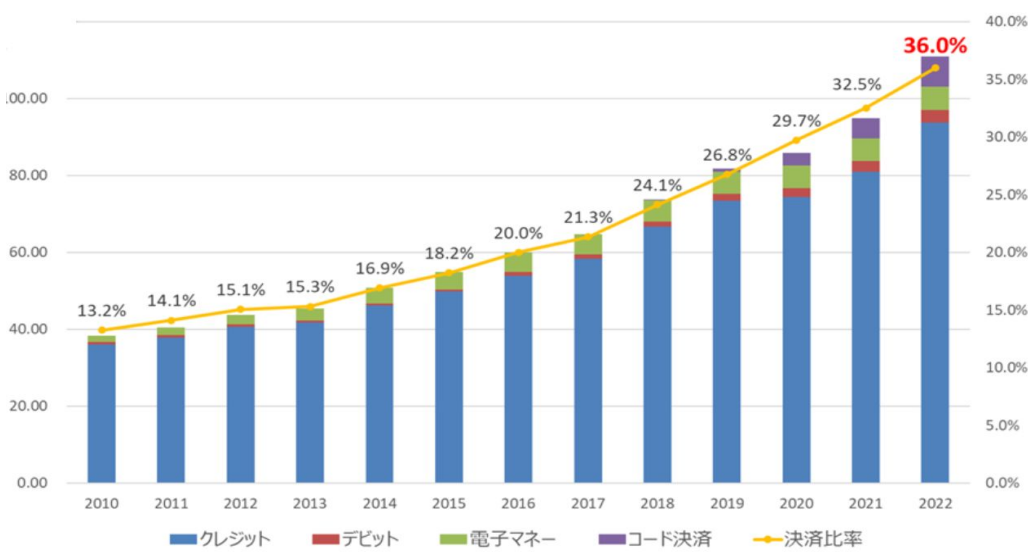
現金関連の作業コスト

- 企業規模が小さいほど負担大
- 100%キャッシュレス化までかかり続けるコスト
- ・警送会社委託費(現金輸送、売上回収等)
- ・レジ締め作業
- ・人件費

⇒導入のメリットは計り知れない！

日本のキャッシュレス決済比率は年々上昇中
 しかし...

- ・地域格差
 - ・電子決済のうち8割以上がクレジット決済
- ⇒シニア層やクレカ未所持の人にとって
 100%電子化は非現実的



結論

- ・中小規模の店におけるキャッシュレス化はコスト削減の有効打になる可能性が高い
- ・今後、電子決済普及率を上げるためにも店側が導入することも必要になる

コスト削減案②

個人経営店におけるAI導入について

接客用AI導入費用例 (Pepper)

セルフオーダー導入例

本体	後払い1回 213,840円
基本プラン	後払い36回 26,568円/月
保険パック	
ロボット手続き手数料	10,584円
合計金額	1,180,872円

- ・初期：117,000円 (レジ1)
- ・月額：100,000円
- ・iPad：34,800円/台×20台
- ・合計：約91万円

okage より

SoftBank社公式サイトより



ホールスタッフにかかる人件費

宮城県内のカフェの平均時給
 ×営業時間×営業日数×人数＝
人件費の概算

一年間での比較

接客型AI 118万＋電気代修理費＝**約200万超**

セルフサービス(一年間使用)
 117000＋34800×20＋100000×12＝**201万**

ホールスタッフ二名のカフェの人件費
 960×10×300×2＝**288万**

結論：考察

- ・AI使用時のほうが安く見えるが完全無人にはできない→人件費が追加でかかる
- ・客の数によっては電気代が無駄になってしまう可能性もある



あまり効果的とは言えない

参考文献

okageよりセルフオーダー導入費用例 <https://okagekk.com/column/column-215/>
 Softbankより接客型AI導入例 <https://www.softbank.jp/robot/consumer/buy/>